

(5) 計画目標の達成状況を評価するための評価指標

計画の達成状況を評価するため、各目標に対し、以下のように評価指標を設定する。

基本方針	目標	評価指標	現状値	目標値	備考
1 広域アクセスやまちづくりとの連携を図った利便性の高い公共交通網の構築を目指す	①拠点間及び地域間の連携強化に資する公共交通網の形成	市内循環バス利用者数 ※令和5年4月1日～再編	—	41,756人	※1
		デマンド型交通1日平均利用者数 ※令和5年4月1日～運行開始	—	26.4人	※2
		地域交通利用料助成事業利用者数 ※現状値：令和元年度	821人	979人	※3
		公共交通サービス全般の利用者満足度 ※現状値：令和2年8月	36.6%	39.2%	※4
	②広域アクセスの強化	市内循環バス利用者満足度 ※現状値：令和2年8月	74.1%	79.3%	※5
		八日市場駅1日平均乗車人員 ※現状値：令和元年度	1,762人	1,674人	※6
		高速バス（銚子東京線） 年間乗降者数 ※令和4年9月17日～運行開始 ※令和5年6月1日～改正	—	16,548人	※7
		路線バス（多古本線） 年間乗降者数 ※現状値：令和4年6月22日調査	101,470人	102,485人	※8
2 各公共交通機関同士の相互連携や、誰もが利用しやすい環境整備による利便性向上を目指す	③利用しやすい公共交通環境の整備	交通結節点整備箇所数	—	4箇所	※9
	④利用者目線に立った分かりやすい運行情報の提供	運行情報案内に関する利用者満足度 ※現状値：令和2年8月	41.8%	44.7%	※10
		商業施設などとの連携による利用促進活動の導入件数	—	1件以上	※11
3 多様な主体との連携によるまちづくりと一体となった持続可能な公共交通を目指す	⑤地域全体で支える公共交通の構築	乗り方教室参加者数	—	延150人以上	※12
		市内循環バス収支率 ※現状値：令和元年度	10.6%	12.0%	※13
		公共交通への公的資金投入額 ※現状値：令和元年度	8,057万円	8,057万円以内	※14

※1 令和2年度利用者数×再編による減少率見込み95%（6路線→5路線）

※2 1日1台当たりの利用者数13.2人×2台

※3 900人+{(900人-821人)÷4年間×4}注)900人：第2次匠瑳市総合計画・令和5年度目標値

※4 市民アンケート調査による鉄道、路線バス・市内循環バス、高速バス及びタクシーの運行サービス満足度（利用者）のうち、各項目における「満足」+「やや満足」の割合を年に1%のペースで向上

※5 市内循環バス利用者アンケート調査による運行サービスに対する満足度のうち、「満足」+「やや満足」の割合を年に1%のペースで向上

※6 令和元年度1日平均乗車人員×直近3年間利用者減少率5%を維持

※7 市内バス停の（令和5年6月1日～令和5年9月30日）乗降者数×3

※8 （八日市場駅～JR成田駅）1日の乗降者数278人×365日×1.01

※9 交通結節点として位置付けた八日市場駅、飯倉駅、匠瑳市役所、野栄総合支所の4箇所

※10 市民アンケート調査による鉄道、路線バス・市内循環バス、高速バス及びタクシーの運行サービス満足度（利用者）のうち、運行情報案内で「満足」+「やや満足」の割合を年に1%のペースで向上

※11 商業施設などとの連携サービスを1件以上実施

※12 乗り方教室を令和5年度から年1回参加者30人程度、延べ5回実施

※13 直近5年間平均収支率12%

※14 現況公的資金投入額：市内循環バス7,143万円+地域交通利用料助成事業914万円